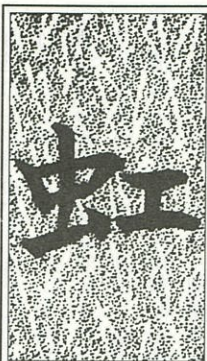




成田山新勝寺初詣



中里の家だより  
第 18 号

発行年月日  
平成3年3月31日

発行  
社会福祉法人  
安房広域福祉会

〒294-02  
館山市中里288-1  
☎(0470)28-2022

去る平成三年二月十四日に中里の家では、園生七五名と職員二十七名でJRバス二台を貸し切り、成田山新勝寺に初詣に出かけました。数人の園生は過去に参拝に行つたことがあるようで、出かける前から他の園生や職員に、その時の事を自慢気に話してくれました。バスに乗りし、中里の家を出発したと同時にカラオケが始まり、にぎやかな雰囲気の中、五時間たらずで目的地の成田山に着き、レストランで昼食を済ませたのち各

班ごとに分かれて自由行動となり、参拝に行く班やお土産をみている班、店に入り甘酒を飲んでいる班とまちまちではありましたが、どの班もとても楽しい時間が過ごせ



た事と思います。また、各人が何を祈りしたのかはわかりませんが、一人一人の願いが少しでもかなうよう、園生・職員とも努力していききたいと思います。

# この一年をふりかえって

## 保護者会会長

### 三 幣 欣 一

一雨毎に春の気配を感じる今日この頃、保護者の皆様には愈々御健勝のことと推察申し上げます。

さて平成二年度をふり返って特筆すべきことは、何と申しましても懸案でありました増築工事の竣工をみたことであります。

新しく入所された園生も施設生活にすっかりなじみ、中には従来園生よりも先輩らしく振る舞っている姿を見るにつけ、何とも微笑ましい限りであります。子供達の順応性には驚かされる思いです。行事の一つである一泊二日の旅行は伊香保温泉でしたが、ホテルの立派さもさることながら、従業員の優しいまなざし、応接に心温まるものを感じました。日頃ゆっ

くり話し合う機会のない親達も、旅の開放感からすっかりうちと話もはずみ、有意義な二日間を過ごすことができました。特に子供達の規律正しい行動は、日頃の訓練の成果とは言え感服いたしました。

我々保護者も子供達に負けないよう「感謝」と「自覚」を持ち、今後尚一層努めて参りたいと思っております。

本年度の実施計画は人間尊重を基軸に、各グループ毎に綿密な計画がなされておりますが、特に所外活動に重点が置かれておりますことは家庭ではできないことであり、このような御配慮に対して深く感謝申し上げます。また新年度は後援資金（マイクロバス購入費等）に充てるため、チャリティーバザーを「中里の家」主催、各市町村社会福祉協議会並

びに「中里の家」保護者会共催のもとに、来る五月十九日（日）館山市民センターで開催されることになりました。申し上げるまでもなく園生の処遇等、定められた経費での施設運営は並大抵の御苦労ではないかと存じます。保護者の皆様にはこの趣旨を充分に御理解いただき、格段の御協力をお願い申し上げます。

終りに「中里の家」の益々の御発展と、皆様方の御健勝をお祈り申し上げます。

## A棟より

平成二年度は、これまで施設全体で活動してきた内容を棟単位で行うことにより、割とゆったりとしたペースでの訓練や行事を楽しむことが出来た様です。

春のマザー牧場では、とっても広い緑の芝生の上で、大の字になつたり駆けまわったり、素敵な一日でした。真夏の夜の花火大会では、大きな体で小さな線香花火を恐々持っていた園生や、間近で見ると打ち上げ花火に拍手喝采の園生、

怖くて先生の陰に隠れていた園生など、それぞれに夏の風物詩を味わっていた様です。ファミリーパークや南パラも楽しい思い出です。みごとな菊人形や珍しい植物を見学したり、可愛らしい動物を恐る恐る触っている園生もいましたよ。

また小塚大師の初大師では、お参りよりも露店の焼そばや鯛焼が目が釘づけでした。折角おいしく食べていたのに突然の雨、みんな大あわてで帰りました。苺狩りでは暖かいハウスの中、お尻を真っ赤にしてあまっばい早春の味を満喫しました。

あつという間の一年でしたが、来年度もより充実した施設生活が送れる様、園生と職員が一体となつて頑張っていきたいと思えます。

## B棟より

B棟園生は、今年度も明るく元気よく過ごしてきました。

楽しかった思い出を振り返ってみると、春には声がとて大きく元気のよい新しい仲間を迎え、四十一名の大所帯になりました。数

日のうちに施設生活にも慣れ、毎日がお祭りのように過ぎてゆきました。夏には海水浴。快晴の中、時折寄せる大きな波に向かってジャンプする園生、海を怖がり波打ち際で砂山を造り遊ぶ園生と、全員が夏の日を精一杯楽しめました。ファミリーパークの夜間外出ではゴルフを楽しんだり、お化け屋敷に入ったものの怖くて後戻りしてしまふ園生の姿も見られました。秋には自然村遠足。長い道程で少し疲れたけれど、全員行き帰りにとも元氣よく歩き通しました。冬にはクリスマス会。サンタクロースからプレゼントを貰い、うれしそうな笑顔が見られました。そしてボウリング大会ではパワフルな投球を見せる園生や、座り込んで玉を転がす園生とフォームは様々でしたが、稀に出るストライクに歓声が上がりました。

園生個々の心の中には、沢山の思い出が詰まっていると思います。来年度もまた、健康で明るく過ごしてゆきたいと思えます。

## C棟より

「おはよう！」 「おはようございまあ〜す！」 元氣な挨拶がとびかうC棟の朝……。年度当初からの挨拶の励行もすっかり身についたC棟の一日の始まりです。

三人からスタートしたC棟も、十月からさらに三人を加え、総勢六人で行事や棟別活動、さらに作業のリーダー的存在として頑張ってきました。

初めて間近に見た花火大会で歓声をあげた丸さん、月一回の野外炊飯でテキパキと仕事を片付けるしつかり者の坂本さん、木更津そごうデパートでのエスカレーター初乗り体験に悲鳴をあげた里見さん、所外実習でお金をなくしペンをかいた内木くん、一人部屋での生活も板につき暮や活け花に親しむ三平くん、野外炊飯の買物では率先して品物を探しまわる積極性を身につけた堀江進くん。

この一年、社会的に自立する為の訓練を続けてきましたが、もともとっと社会経験をたくさん積み、困難に直面した時の解決能力を身につけ、就労・自立を目標に来年度も頑張りたいと思えます。

## 《行事》

ファミリーパークの雪・苺狩り・鴨川シーワールド

# 楽しい思い出

曆の上では春とはいえまだ寒い三月五日、中里ファミリーは苺狩りへと出掛けました。ハウスに入ると甘ずっぱい香りが漂っており、赤く色づいた苺が畝にそってびっしりと実つて、とても美味しそうでした。何も言わずに黙々と沢山食べた人や、青い苺を口にする人も見受けられ、お腹は大丈夫かなと心配になりました。

「山は白銀朝日をあびて、すべるスキートの風切る速さ」という様な光景は温暖の地、南房総では見られません。最近では、実際に雪を見たり体で感じたりすることはできず、テレビの画面にうつる雪を見て「雪だ雪だ！」とはしゃいでいるぐらいです。そんなある日ファミリーパークより「雪を見にきませんか」という招待を受けました。思わぬプレゼントに中里ファミリーは大喜び。みんな手袋や帽子の準備をして、散歩の時も食事の時もまだかまだかと指折り数えておりました。

待ちに待った三月七日、天候も晴れて準備完了。健康状態良好、いざ出陣!!。ファミリーパークに到

着すると、真っ白な雪が太陽の光に反射して目に飛びこんできました。初めて見る雪は、まるで雪国にいたような錯覚をおこさせるものでした。止める間もなくその場は踏み荒され、雪合戦が始まりました。初めて触れる雪は、皆の心にとどのような思いを残したでしょうか。

暖かかった春の陽射しが少し逆もどりした三月十八日、中里一行は鴨川シーワールドへと向かいました。海からの強風にもめげず、



一行は動物達のショーや可愛いしぐさに驚き感激しました。シャチの遊泳を間近に見ながら食べた昼食は、格別美味しく思えました。帰りのバスで自分のお土産を抱えて眠っている姿は、疲れきった中にも、充実した一日を過ごしたという満足感がありました。

土筆の穂も顔を出し寒い中にも春の訪れを感じる頃となり、中里ファミリーも春の訪れと共に顔に花が咲いたかの様に、素敵なニコニコ笑顔になってまいりました。



## 編集後記

各地から花便りの届く頃になりました。中里の家の近辺でも春の花がよい香りを漂わせています。

今回は、寒い冬の厳しさにも負けずに元気に活動し、春の訪れを心待ちにしている入所者の姿を、様々な行事を通して紹介いたしました。

もうすぐ本格的な春がやってきます。お花見や遠足など、楽しい行事の予定も組まれています。

新年度も、「虹」の中で入所者の生活ぶりをお伝えしていきたいと考えています。

御意見、御要望等ございましたらお寄せください。

